

年間授業計画

高等学校 令和8年度 教科		外国語（英語）	科目	論理・表現Ⅰ
教科：	外国語（英語）	科目：	論理・表現Ⅰ	
対象学年組：第	2 学年	1 組～	7 組	
教科担当者：	(1,4組：栗山)	(3,5,6組：藤原)	(2,7組：清水)	
使用教科書：	(Vision Quest English Logic and Expression I Standard)			
教科	外国語（英語）	の目標：		
【知識及び技能】		外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。		
【思考力、判断力、表現力等】		場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。		
【学びに向かう力、人間性等】		外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。		
科目	論理・表現Ⅰ	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。 聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (や)	話 (き) 書					
1 学 期	Lesson 1 Meeting New People ▶【知】 □あいづちの表現を適切に用いて、会話を続けることができる。 ▶【知】 □事情や話題について、内容を整理し、現在進行形などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【知】 Task □モデル会話の人物になりきって、海外からの留学生と会話することができる。 ▶【知】 Start-up □グループになって自己紹介をし、ほかのメンバーの自己紹介を聞いて質問したり感想を伝えたりできる。	・指導事項 現在形・現在進行形を適切に用いて、自分のことや身の回りのことについて説明することができる。 ▶【知】 Task, Share □新しいクラスメイトに知ってほしいことを整理して、自己紹介をすることができる。 ▶【知】 Share □自己紹介の冒頭・しめくくりでは、クラスメイトに対し、語りかけるようにあいさつを述べることができる。 ▶【知】 Share 教材 Harmony I ワークブック グラマーブック 一人1台端末の活用 等 Kahoot!, 等を活用	○	○	○	○	▶【知】 □状態動詞・動作動詞の現在形を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □現在進行形が表す時制を正しく理解し、状況を表す英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □動詞・一般動詞の現在形を用いて、自己紹介の原稿をつくる ▶【知】 Write,	○	○	○	5
	Lesson 2 Last Weekend 過去形・過去進行形を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 □実際にしたこと（事実）と、それをして思ったこと（感想）を区別して伝えることができる。 ▶【知】 Task □事情や話題について、内容を整理し、過去形・過去進行形などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【知】 Task □モデル会話の人物になりきって、週末にしたことを説明することができる。 ▶【知】 Start-up □ペアになって先週末にしたことについて話すことができる。 ▶【知】 Share	・指導事項 □過去形・過去進行形を適切に用いて、最近したことについて説明することができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラマーブック 一人1台端末の活用 等 Kahoot!, 等を活用	○	○	○	○	□過去形を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □過去進行形を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □Used to ...を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □過去の表現を用いて、先週末のことを正しく書くことができる。 ▶【知】 Write	○	○	○	5
	定期考査							○	○	○	1
	Lesson 3 Weekend Plans □未来の表現を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 □相手の発言に対し、適切な疑問詞を用いて、くわしくたずねることができる。 ▶【知】 Task □事情や話題について、内容を整理し、未来の表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【知】 Task □モデル会話の人物になりきって、週末の予定について話すことができる。 ▶【知】 Start-up □ペアになって週末の予定について話すことができる。 ▶【知】 Share	・指導事項 □未来の表現を適切に用いて、これからする予定のことについて説明することができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラマーブック 一人1台端末の活用 等 Kahoot!, 等を活用	○	○	○	○	□(will+動詞の原形)を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □(be going to+動詞の原形)を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □When, ほか始まる時や条件を表す副詞節の中で、未来のことを現在形を用いて書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □未来の表現を用いて、週末の予定を正しく書くことができる。 ▶【知】 Write	○	○	○	5
	Lesson 4 A Short Trip □現在完了形を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 □あるトピックに沿って、相手に質問を投げかけて、会話のきっかけをつくることができる。 ▶【知】 Task □事情や話題について、内容を整理し、現在完了形を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【知】 Task □モデル会話の人物になりきって、特別な経験について話すことができる。 ▶【知】 Start-up □ペアになって珍しい体験について話すことができる。 ▶【知】 Share	・指導事項 □現在完了形を適切に用いて、完了したことや経験したことを、継続的にしていることについて説明することができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラマーブック 一人1台端末の活用 等 Kahoot!, 等を活用	○	○	○	○	□現在完了形を正しく用いて、完了したことやその結果について書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □現在完了形を正しく用いて、これまでに経験したことについて書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □現在完了形・現在完了進行形を正しく用いて、継続的にしていることについて書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □現在完了形を用いて、珍しい体験について書くことができる。 ▶【知】 Write	○	○	○	5
定期考査								○	○	○	1

2 学 期	Lesson 5 School Rules 助動詞を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 誰かに対し、とてもよいこと、してはいけないことを述べることができる。 ▶【知】 事柄や話題について、内容を整理し、助動詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task モデル会話の人物になりきって、してはいけないことについて話すことができる。 ▶【能】 Start-Up ペアになって決まったルールについて話すことができる。 ▶【能】 Share	・指導事項 □助動詞を適切に用いて、可能であることやしなければならないこと、依頼したいことについて説明することができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラムブック ―一人1台端末の活用 等 Kaboot!, 等を活用	○ ○ ○ ○ ○ ○	□助動詞can・be able to, mayを用いて、可能であることや許可を与える英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □助動詞must/have to/shouldを用いて、義務や必要を表す英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □I'll you...?を用いて、誰かに依頼する英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □助動詞を用いて、規則について書くことができる。 ▶【知】 Write	○ ○ ○ 5
	Lesson 6 Are You All Right? ▶【知】 ある出来事についての推測を述べることができる。 ▶【知】 Task 事柄や話題について、内容を整理し、助動詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task モデル会話の人物になりきって、ある出来事の推測について話すことができる。 ▶【能】 Start-Up ペアになって忘れ物について電話でやりとりすることができる。 ▶【能】 Share	・指導事項 □助動詞を適切に用いて、可能性のあることや推量、確信や推測、過去の出来事の推測について説明することができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラムブック ―一人1台端末の活用 等 Kaboot!, 等を活用	○ ○ ○ ○ ○ ○	□助動詞can・mayを用いて、可能性のあることや推量できることの英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □助動詞must, shouldを用いて、確信していることや推測していることについての英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □(助動詞+have+過去分詞)を用いて、過去のことを推測したり、過去にしかかったことへの後悔を英文で正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □助動詞を用いて、不思議なものについて推測して書くことができる。 ▶【知】 Write	○ ○ ○ 5
	定期考査				○ ○ 1
3 学 期	Lesson 7 Things Japanese. 受動態を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 相手がいしてきたあるものについての質問に対し、求めていると詳しく説明することができる。 ▶【知】 Task 事柄や話題について、内容を整理し、受動態を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task モデル会話の人物になりきって、あるものの説明をすることができる。 ▶【能】 Start-Up ペアになって日本のものについて紹介する説明をすることができる。 ▶【能】 Share	・指導事項 □受動態を適切に用いて、だれに・何にされたのか、いつ・どこに〜されたか、何かによって引き起こされる喜びや驚きについて話すことができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラムブック ―一人1台端末の活用 等 Kaboot!, 等を活用	○ ○ ○ ○ ○ ○	□受動態 (be+過去分詞) を用いて英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □受動態の疑問文を用いて正しく書くことができる。 □(be+過去分詞+with/at/to/of+もの) を用いて正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □受動態を用いて、日本のものについて書くことができる。 ▶【知】 Write	○ ○ ○ 5
	Lesson 8 Talking about Dreams □不定詞を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 これから先のことや、したいと考えていることについて、伝えることができる。 ▶【知】 Task 事柄や話題について、内容を整理し、助動詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task モデル会話の人物になりきって、将来の夢について話すことができる。 ▶【能】 Start-Up ペアになって将来の夢について説明することができる。 ▶【能】 Share	・指導事項 □不定詞を適切に用いて、「〜することは…だ」、「何をするか」「何をすべきか」、「〜しないこと」といった表現を使用しながら話すことができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラムブック ―一人1台端末の活用 等 Kaboot!, 等を活用	○ ○ ○ ○ ○ ○	□不定詞(名詞用法)を用いて正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □不定詞(名詞用法)を用いて正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □不定詞の主語・否定形を用いて正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □不定詞を用いて、将来の夢について書くことができる。 ▶【知】 Write	○ ○ ○ 5
	定期考査				○ ○ ○ 1
3 学 期	Lesson 9 To Keep Fit 不定詞を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 何かをやる・しないと言うときに、その理由を説明することができる。 ▶【知】 Task 事柄や話題について、内容を整理し、不定詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task モデル会話の人物になりきって、「〜するため」という説明を加えて話すことができる。 ▶【能】 Start-Up ペアになって健康のためにしていることについて説明することができる。 ▶【能】 Share	・指導事項 □不定詞を適切に用いて、あるものに説明を加えたり、あることについての目的を説明したり、感情の原因について話すことができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラムブック ―一人1台端末の活用 等 Kaboot!, 等を活用	○ ○ ○ ○ ○ ○	□不定詞(形容詞用法)を用いてあるものや事の説明を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □不定詞(副詞用法)を用いて目的についての説明を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □不定詞(副詞用法)を用いて感情の原因や判断の根拠の説明を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □不定詞を用いて、健康維持のコツについて書くことができる。 ▶【知】 Write	○ ○ ○ 5
	Lesson 10 Our Future Devices □使役動詞・知覚動詞を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 誰かにさせる、誰かができるようにすると伝えることができるようにする。 ▶【知】 Task 事柄や話題について、内容を整理し、使役動詞・知覚動詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task モデル会話の人物になりきって、誰かにさせる、誰かができるようにすると話すことができる。 ▶【能】 Start-Up ペアになってロボット・機器にしたいことについて説明することができる。 ▶【能】 Share	・指導事項 □使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて、誰かにしてほしいことや誰かにしてもらいたいこと、一部始終を共に聞いたりするという状況について話すことができる。 ▶【知】 Task, Share 教材 Harmony I ワークブック グラムブック ―一人1台端末の活用 等 Kaboot!, 等を活用	○ ○ ○ ○ ○ ○	□(動詞+人+to do)を用いて正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □使役動詞を用いて許可、依頼、強制の意味を表す英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □知覚動詞を用いて一部始終を見る／聞く／感じるという状況を表した英文を正しく書くことができる。 ▶【知】 Task, Write □使役動詞・知覚動詞を用いて、夢のロボットについて書くことができる。 ▶【知】 Write	○ ○ ○ ○ 5
	定期考査				○ ○ ○ 1
合計					○ ○ ○ 1